[通常機体] ネ M

ネモ II

機体名	ネモ II	画像
型式番号	MSA-004	
英語名	NEMO II	
所属	エウーゴ	
パイロット		
装甲材質		
装備	ビームライフルビームサーベルバルカン	
作品名	機動戦士ガンダム ギレンの野望アクシズの脅威 V	
参考書籍	ギレンの野望アクシズの脅威 V データベースアクシズの脅威 V 公式コンプリートガイドアクシズの脅威 V 特典諜報機密ファイルビークラブ 22号	

内容

ネモを改良して開発された発展型機体。

従来機で指摘された火力と機動力不足を補うため、ジェネレータの周囲に改良が加えられている。

ジェネレータ本体を加工する事なく出力向上しに成功し、低コストを維持したまま問題を解決している。

公式コンプリートガイド

ティターンズの新鋭機に対抗すべく、エウーゴからの依頼でアナハイム社が開発したネモの出力向上型。

ただし、開発は難航し、その代替プランとしてネモ III の設計案が提案されることになる。

実際にはネモ II の開発は難航を極め、実戦配備は遅々として進まなかった。

したがってどの程度の数が生産されたのかは不明である。

ビークラブ 22 号

ネモ II と称される MS は、従来のネモの出力強化型で外観は変わらない。

戦力的にネモの後継機となったのは RGM-86R GMIII であった。

MSA-003 ネモのパワー不足は度々問題となり、外観に大きな変化のない出力強化型の MSA-004 ネモ III、ビームキャノン装備型の MSA-004K ネモ III が開発されている。

(原文まま)

備考

MSA-004 ネモ III は前後の記述から MSA-004 ネモ II の誤記とみて間違いはない。

そして、上記太字で強調した解説文面に見れるピークラブの「外観は変わらない」部分だが、アクシズの脅威Ⅴにて初公開となったネモⅡの姿はネモⅢの記述のみを反映しており、ピークラブにおける説明を大幅に無視した外観の全く違う姿となった。

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスタ-推力	
センサ有効半径	